

半月板の手術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日	2病日		3病日	4~8病日	9~12病日:退院
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2~6日目	手術後7~10日目
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・循環動態が安定している ・腓骨神経麻痺の症状がない(背屈ができる、下垂足、しびれ、知覚障害がない)			・退院指導の内容を理解できる ・創部の発赤、浸出液などの感染徴候がない ・38.0℃以上の発熱がない ・制限を守り関節可動域訓練ができる
	・痛みによる苦痛がない ・転倒の危険性を理解し、転倒予防行動ができる		・良肢位が保持できる ・患肢の荷重制限を理解し、安静度を守ることができる			
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します	・指示された薬のみ内服します		・痛み止めと胃薬を1日3回、毎食後に内服します(7日間)		
手術・輸血		手術 				
注射		・点滴をします 		・点滴を抜きます		
検査	・身長・体重測定					・採血(手術後7日目)  ・体重測定(退院日)
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます ・手術した方の足は足部のみにつけます		・フットポンプを外し、弾性ストッキングを脱ぎます(手術後2日目)	
			・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます		
			・手術室で創部にドレーン(管)を入れます	・創部のドレーン(管)を抜きます		・創部の消毒をします(必要時) ・退院までに、抜糸をします
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します		
			・膝の装具(ニープレス)を装着します ・病室直後から、手術した方の膝を機械で冷やします	・離床後は、手術した方の膝をアイスノンで冷やします		・医師の指示で硬性装具(ブレッグ)を装着し、CPMを使い、1日2回、病棟でリハビリを行います
食事	夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・指示された時間までは、飲水できません ・食事はできません 	・医師の指示後、少量の飲水ができます ・食事はできません	・朝食(常食)から開始となります 		
活動・安静	・制限はありません	・病室内で経過ください 	・ベッド上安静です ・排便是ベッド上で行います ・体の向きを変えたい時や飲水時、排便時は、ナースコールでお知らせください	・初めて車椅子に移る時は、医師と行います ・手術した方の足は、床につけることはできません ・トイレに行く時は、看護師と一緒に車椅子に移りますので、ナースコールでお知らせください	・医師の許可が出るまでは、車椅子への移動は看護師と一緒に行います ・医師の指示で、リハビリテーションで少しずつ荷重をかけていきます。その後、松葉杖歩行を開始します 	
清潔	・シャワー浴をしてください 	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します	・身体を拭きます 	・医師の許可後、ニープレスを装着したままビニール等で創部を保護し、シャワー浴ができます	
リハビリ				・リハビリテーションが始まります 		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・深部静脈血栓症予防について説明します		・手術後、医師が説明をします 			・「韧带・半月板の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します 
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・手術に必要な物品を確認します 【必要物品】 ・T字帯1枚・ストロー ・ペットボトルの水 ・リハビリテーションで使用する靴やズボン	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、2階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください  ・深部静脈血栓症予防のため、足首の反り返しを行ってください ・足の痺れや感覚が鈍い、手足が動かしにくい、その他気になる症状があれば、すぐにナースコールでお知らせください			

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。